

(学年) 第1学年, (教科・科目) 保健体育・保健

一斉学習

(単元) 交通事故の現状と要因

(本時のねらい)

本校は全校生徒の約7割がバス通学をしているが、原動機付き自転車や自転車で通学している生徒も多い。そこで本時では、交通事故の現状と要因について理解することを大きなねらいとする。また、現状に関しては、高校生は交通事故の被害者になること、そして若者では交通事故が主要な死亡要因の1つであることを理解させ、さまざまな事故に対する要因を考えられるよう、本単元を設定した。

(ICT活用方法)

交通事故の発生状況などの説明後、プレゼンテーションソフトを使用して、実際の事故映像や事故のシミュレーションを提示し、生徒たちに主体要因・環境要因・車両要因について考えさせる。

また、最新の統計データを掲示し、最新の情報を確認する。従来は、教員が事故の際の写真やDVDなどを用意しなければいけなかったが、動画サイトなどを利用することによって、簡易でより分かりやすい教材を提供できるようになった。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の目標を知る。	・本時の目標を理解させる。	・モニターに本時の着目してほしいポイントを示す。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の運転免許取得年齢について理解する。</li> <li>・2021年の日本での交通事故件数のグラフを確認し、交通事故の要因について考え、ワークシートに記入する。</li> <li>・年齢別、昼夜別に見た交通事故死の状態について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二輪車の場合と自動車の年齢について理解させる。</li> <li>・モニターに映っているグラフを参考に交通事故の要因を考え、記入させる。</li> <li>・グラフを参考に事故が多発している年齢、時間帯について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターに過去5年間の交通事故発生件数と死者数についてのグラフを映しながら、交通事故の要因を考えさせる。</li> <li>・モニターに時間帯別の死者数についてのグラフを映し、いつ事故が多発しているか理解させる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あなたの人生も変える加害事故」動画を視聴する。</li> <li>・ 主体要因，環境要因，車両要因について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画を視聴させ事故要因を付箋に書かせる。</li> <li>・ 動画を視聴して書いた付箋を3つの要因に分類させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画視聴により，より生徒が交通事故の要因をイメージすることができる。</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の意見を踏まえ交通事故には3角要因が関係してくることを理解させる。</li> </ul>	

(授業の様子)



(モニター投影の様子)



(動画視聴の様子)



(生徒の様子)

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

**【GOOD】**

- ・ I C Tを活用することにより，グラフや動画などを掲示しやすくなった。
- ・ 動画などを使用することで，生徒たちの興味関心を引き出すことができた。

**【BAD】**

- ・ 掲示したものを残しておくことができない。
- ・ 黒板（ホワイトボード）とモニターを両方使った授業を展開してみる。

**【NEXT】**

- ・ 生徒たちの1人1台端末に、実際に使っているプレゼンテーションソフトを反映させてみる。
- ・ 授業支援クラウドアプリを使って，実際に生徒たちが作業できる教材を準備する。